

県歯・諏訪地区の学術大会

口腔内出血などを講演

松歯大第一口腔外科の北村氏

県歯・諏訪地区共催の学術大会は十一月二十五日諏訪市保健センターで開き、松本歯科大学第一口腔外科の北村豊助教授が「救急医療」と「マレーシアの原住

民病院における歯科診療活動」について講演した。

この中で北村氏は、口腔内の出血は歯科医師にとつて日常茶飯事のことであるが、患者にとっては大変急で不安なことであると、



講演する北村豊松歯大助教授

「口の中の出血の多くは、

「歯科医院でも最低止血鉗

▽紹介状には必ず日付を入れておく——などを留意してほしいと説明。「受け入れ体制はその病院によって違う。例えば私のいる、松本歯科大学では二十四時間体制で救急も受け付けている」と述べた。

また、昭和五十二年から青年海外協力隊員としてマレーシア原住民の歯科医療に従事した三年間を、スライドを使いながら、ユーモアたっぷりに語り、「してあげられたことより、自分自身得たものは大きかった。最近、様々なボランティアグループが歯科診療に各地の発展途上国へ出かけているが、こうした援助活動は相手国をよく理解し、

十分なコミュニケーションがある」と結んだ。